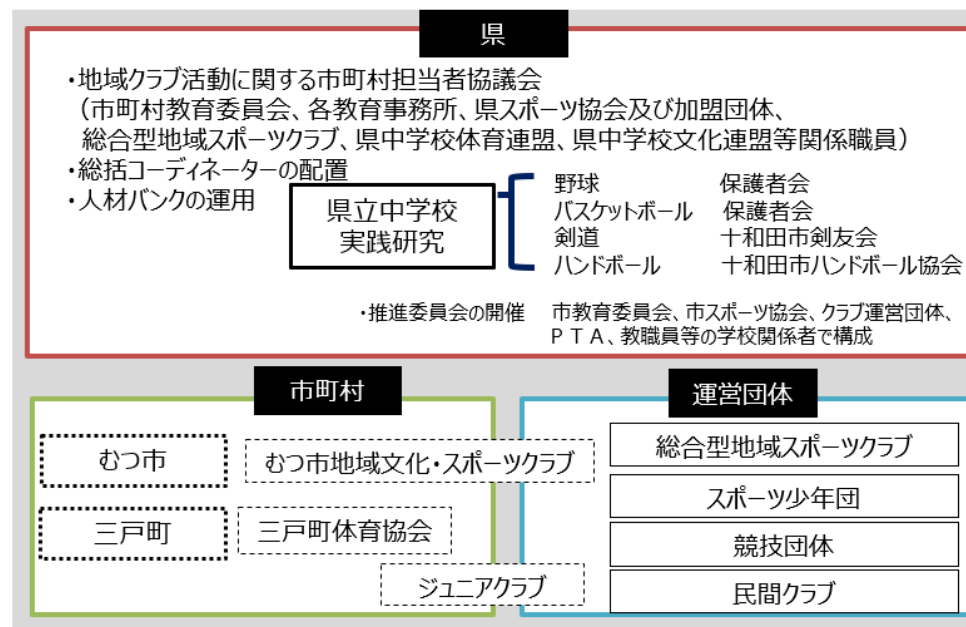


本県において、少子化に伴い、部活動数及び部活動に加入する生徒数の減少が進んでいる。特に、団体競技においては合同チームによる大会への出場校が増加している。県内には、146校の公立中学校があり、16,705名の生徒が1,281部活動で活動している。

県立中学校では、118名の生徒が7部活動で活動しており、運動部活動への加入率は53.1%となっている。部活動によっては、単独校でのチーム編成ができず、学校においても部活動に関する規程の見直しが行われている。

中学校数	1校	全生徒数	222人
域内の部活動数	7部	実施した地域クラブ数	4クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	4人
主な運営団体	競技団体 保護者会		
主な種目	軟式野球、バスケットボール、剣道、ハンドボール		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	1,000～12,000円/年	主な活動場所	学校 公共施設

- ・「地域クラブ活動推進に関する市町村担当者協議会」の開催
 - ・地域クラブが必要とする指導者確保のための人材バンクの運用
 - ・指導者の資質向上に向けた「部活動の在り方に関する研修会」の開催
 - ・県立中学校における地域移行に向けた実践研究
 - ・県教育委員会内への総括コーディネーターの配置 等
- 地域クラブへの移行に向けた取組の実態把握や課題解決に向けて、協議会や研修への参加対象者の拡大、情報交換会の機会の設定や巡回訪問等により、関係団体との連携を進めている。

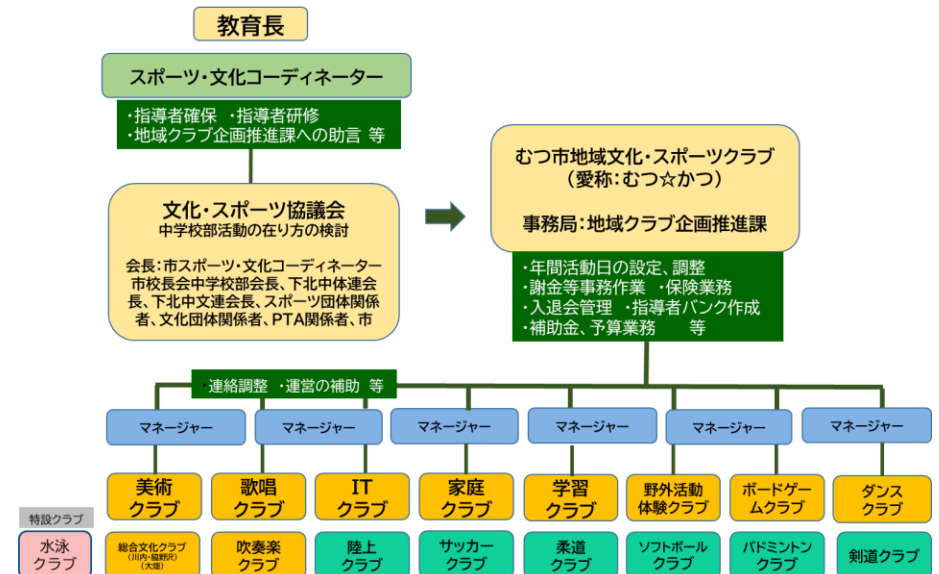


本市には9校の公立中学校があり、生徒数1,223人で29部活動及び7クラブが活動しており、中学校部活動への加入率は約34%だが、団体競技では部員不足のため単独でチームを編成することができず、複数校で合同チームを組んで試合に出場しているという現状である。

中学校部活動の地域移行の受け皿として、地域格差が発生しないよう市内全生徒に公平な活動機会を提供するため、指導者の質・量の確保、活動場所の確保、生徒の移動手手段の確保、持続可能な体制の整備等、活動環境を整備していく必要がある。

中学校数	9校	全生徒数	1,223人
域内の部活動数	29部	実施した地域クラブ数	7クラブ
全体の指導者数	147人	全体の運営スタッフ数	24人
主な運営団体	むつ市地域文化・スポーツクラブ（愛称：むつ☆かつ）		
主な種目	サッカー、柔道、水泳、陸上、バドミントン、ソフトボール、剣道		
平均的な活動回数	17回/月	年間平均参加生徒実数	3年：30人/クラブ 2年：50人/クラブ 1年：41人/クラブ
参加会費	12,000円/年	主な活動場所	市内中学校、運動公園、ドーム等

- ・活動場所を競技ごとに集約することにより、限られた指導者数においても、常に専門の指導者から高いレベルの指導を受けることができる環境を作ることができた。
- ・各競技団体と連携を深め、指導者の確保と地域全体でクラブ運営をしていく体制の構築に努めている。なお、指導者には、年1回程度の研修会を実施し、コンプライアンス面での認識を深めてもらっている。
- ・各学校から活動場所を繋ぐバスを運行することで、市内の全生徒が等しく活動機会を得ることができるようになった。



三戸町では、急速な人口減少と少子高齢化の進行する中、将来にわたり生徒がスポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の在り方に関する検討委員会における検討結果を踏まえ、休日の運動部活動から地域移行を進めている。

令和5年度から、部活動に配置している部活動指導員を軸とした指導体制を構築し、三戸町体育協会内にジュニアクラブを設置して地域移行を実施している。しかし、部活動指導員を配置していない部活動の地域移行は進んでおらず、指導者の確保、実施体制の構築が課題となっている。

中学校数	1校	全生徒数	192人
域内の部活動数	10部	実施した地域クラブ数	5クラブ
全体の指導者数	17人	全体の運営スタッフ数	5人
主な運営団体	三戸町体育協会		
主な種目	柔道、卓球、サッカー、スケート、相撲、剣道		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：1人/クラブ 2年：2人/クラブ 1年：2人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	公共施設

- 部活動指導員を配置している柔道・卓球・サッカー・スケートの4種目の部活動について、地域の受け皿として三戸町体育協会内にジュニアクラブを設置。（令和6年度はスケート部員がいなかったため、スケートを除く3種目でジュニアクラブ活動を実施）
- 部活動指導員が中心となりジュニアクラブの指導に当たったことにより、**指導の一貫性が保たれ、競技力の向上と生徒の特性を理解した指導体制を確保**することができた。
- 部活動ではなく、地域のスポーツ教室として活動している相撲・剣道の2種目の団体を三戸町体育協会内のジュニアクラブとして中体連に登録することにより、これまで参加することができなかった中体連主催の大会に参加できるようになった。

